

## 関東学院大学戦略的プロジェクト研究 研究計画調書記入要領

本要領は、関東学院大学戦略的プロジェクト研究の新規課題の応募における研究計画調書の作成について、記入上の留意点をまとめたものです。

応募者におかれましては、本要領をご確認のうえ、研究計画調書を作成してください。

### 記

- ※ 研究計画調書の作成に当たっては、公募要領に基づいて、研究代表者が責任をもって作成してください。
- ※ 所定の様式の改変は認めません。
- ※ 「研究代表者」、「研究分担者」、「研究協力者」の定義については、公募要領の4ページを参照してください。
- ※ 研究経費明細の記入における算出根拠等については、「関東学院大学 公的研究費執行マニュアルー執行に関する手続き及び留意事項ー」（以下「公的研究費執行マニュアル」）の各該当項目を参照してください。
- ※ 次ページ以降の「研究計画調書-1～10」については、【挑戦的研究】の様式に沿って説明していますが、【萌芽的研究】についてもおおよそ同様の内容となりますのでご参照ください。一部の異なる点については、適宜記載していますのでご確認ください。
- ※ 「研究計画調書-11・12」については、【挑戦的研究】のみの様式となります。

### 〔記入のポイント〕

- 記述式の記入欄については、適宜文献等を引用しながら、具体的かつ明確に記入してください。
- 図表などを用いると内容が整理され、視覚的にも理解しやすくなります。
- 強調したい部分には太字や下線を使用するなど工夫すると効果的です。
- 審査委員は応募者と同じ専門領域の方とは限りませんので、専門的な言葉の多用は避け、一般の人でも理解できるようなわかりやすい記述をお願いします。
- 欄内に書ききれない場合、行間を詰めるなどの対応もできますが、文字が詰め込まれすぎたり多すぎたりすると読みにくくなるため、適度な余白を設けてください。

ページがずれないように注意してください。

<b>関東学院大学戦略的プロジェクト研究</b> <b>20〇〇年度研究計画調書【挑戦的研究】</b>		提出日 年 月 日			
		※研究課題番号 【事務局にて記入】	〇〇-1-		
		複数可。	研究分野 〇〇学、〇〇論		
所属については、各学部又は法務研究科と記入してください。					
研究代表者	〇〇 〇〇 (印)	所属・職	〇〇学部・教授		
〇〇年度募集の 戦略的研究領域 (該当する領域を選択)	① ② ③ ④ ⑤	所属長	×× ×× (印)		
研究課題 (副題も含め 40字以内)	各学部長又は法務研究科長の氏名を記入してください。 公募要領1～2ページを参照して、該当する研究領域に○をしてください。複数可。				
研究期間	20〇〇年度～ 年度				
研究経費 (千円未満の端数は切り捨て)	20〇〇年度	20〇〇年度	20〇〇年度		
	1,950千円	〇〇〇千円	●●●千円		
合計 △△△千円					
研究組織 (エフォート欄は、年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち本研究の実施等に要する時間配分率)					
合計 6 名(うち学外の研究協力者 1名)			【萌芽的研究】は記入不要。		
	氏名	所属・職	学位	役割分担	エフォート (%)
研究代表者	〇〇 〇〇	〇〇学部・教授	博士 (〇〇学)	研究の全体的統括	20
研究分担者	●● ●●	〇〇学部・准教授	修士 (〇〇学)	〇〇に関する実験	15
研究分担者	△△ △△	△△学部・専任講師	博士	△△に関する統計処理	15
研究協力者 (学内・学外)	▲▲ ▲▲	〇〇研究所・研究員	〇〇	〇〇〇	10
研究協力者 (学内・学外)	□□ □□	〇〇大学〇〇学部 ・教授	〇〇	〇〇〇	10
大学院生	■ ■ ■ ■	〇〇研究科	修士		10
大学院生	◇◇ ◇◇	〇〇研究科 ・博士課程後期	学士 (〇〇)	〇〇〇	5
研究代表者氏名		〇〇 〇〇		研究計画調書-1	



ページがずれないように注意してください。

## 研究目的及びその戦略性・訴求性

### ①本プロジェクト研究の目的と、内容

研究の全体構想及びその中での本研究の具体的な目的と内容について、学術的に見て推進すべき重要な研究課題である点に言及しながら記入してください。

破線の位置は動かさないでください。

### ②本プロジェクト研究の学術的背景、特色及び独創的な点(他研究の動向及びそれとの相違点)

本研究に関連する国内・国外の研究動向と位置づけについて記入してください。また、それらと比較して、本研究の対象や方法、期待される研究成果等の学術的な特色や独創性についても記入してください。

### ③社会的・産業的ニーズや地域的背景への意義・適合度・波及効果等を踏まえた、本プロジェクト研究の必要性・重要性・発展性

本研究が、科学技術・産業・文化などの幅広い意味で社会に与えるインパクトやもたらす効果について具体的に言及しながら、その必要性や重要性や発展性について記入してください。

研究代表者氏名

〇〇 〇〇

研究計画調書-3

## 研究目的及びその戦略性・訴求性(つづき)

### ④.本プロジェクト研究がカバーする学問分野及び学際的研究領域

本研究の該当する研究分野及び関連する研究領域に言及し、それらの進展に対する貢献及び新しい学問分野の開拓等、期待できる学術的な波及効果について記入してください。

### ⑤.本プロジェクト研究が、関東学院大学の特色・特徴を活かしている点、及び関東学院大学にとってどのような新たな特色を生み出す研究拠点又はプロジェクト研究(所)の核となるか

戦略的プロジェクト研究制度は、「関東学院大学として特色ある研究拠点の形成」「本学のプロジェクト研究(所)の核の形成」を目的としています。

本欄には、本研究が「関東学院大学ならではの」研究である点、及び研究期間終了後には関東学院大学の新たな特色となる研究拠点やプロジェクト研究(所)につながる具体的な内容について、期待される研究成果に言及しながら記入してください。

### ⑥.研究代表者がリーダーとして本プロジェクト研究を強力に推進し、外部の研究資金獲得の目標を達成する能力を有することの根拠 ※個人での応募の場合も記入してください。

研究代表者が強いリーダーシップと高い研究遂行能力をもってプロジェクト研究を推進し、本研究によって達成される研究成果によって大型の競争的外部資金(科研費における基盤研究(B)以上に相当)の獲得が十分に期待できる根拠について、これまでの業績等に言及しながら記入してください。

### ⑦.本プロジェクト研究において、これまでの研究成果をどのように発展させるか ※これまでに「萌芽的研究」として採択されている研究課題については、その研究成果についても言及してください。

#### ※本欄は【挑戦的研究】のみ

応募者のこれまでの研究成果を発展させる内容について、目標達成のための方法に言及しながら記入してください。また、これまでに「萌芽的研究」として採択されている研究課題については、その研究成果についても言及してください。

研究代表者氏名

〇〇 〇〇

研究計画調書-4

## 研究成果及びその活用性等

### ①.本プロジェクト研究が達成しようとする研究成果及びその活用

本研究が、研究期間内に、何を、どこまで明らかにしようとするのかについて、予想される結果と意義を記入してください。また、達成しようとする研究成果やその活用が、研究費の規模に見合った意義が認められるかについても言及してください。

### ②.予定される本プロジェクト研究の成果の公表(学術論文、国際会議、学会発表、ウェブサイト等)

本研究を通じて予定される研究成果の公表について、広く社会へ発信するための形式、媒体、時期等をできる限り具体的に記入してください。

研究代表者氏名

〇〇 〇〇

研究計画調書-5

## 研究成果及びその活用性等

### ③本プロジェクト研究の成果を踏まえて、応募を予定する具体的な外部の大型競争的研究資金の名称・研究種目(科研費の場合)、及びその採択に向けた戦略

戦略的プロジェクト研究制度は、「外部の大型競争的研究資金(公的又は民間の全額補助の公募型研究資金)の継続的な獲得」を目的のひとつとしており、採択者にはその応募を義務付けています。  
本欄には、研究期間中及び研究期間終了後に応募を予定している具体的な外部の大型競争的研究資金の名称、研究種目(科研費においては基盤研究(B)以上)について記入してください。また、採択されるための戦略や計画について、できるだけ具体的に記入してください。

### ④本プロジェクト研究の遂行や促進にあたっての障害や懸念事項、及び人権の保護や法令等の遵守への対応

現時点で予想される研究遂行上の障害や懸念事項について、その対応も併せて記入してください。  
また、研究遂行上、人権の保護や法令等の遵守に特に注意が必要な場合は、その対応についても記入してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、組換えDNA実験、動物実験など、学内の倫理委員会における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。なお、該当しない場合には、その旨を記入してください。

### ⑤本プロジェクト研究期間終了後から最終目標としての研究拠点又は研究所の立ち上げまでの具体的な取組み

**※本欄は【挑戦的研究】のみ**  
戦略的プロジェクト研究制度の目的である「関東学院大学として特色ある研究拠点の形成」「本学のプロジェクト研究(所)の核の形成」について、獲得を目指す外部の大型競争的研究資金の活用に関して言及しながら、その具体的な取組みを記入してください。

研究代表者氏名

〇〇 〇〇

研究計画調書-6

### 研究の準備状況等

#### ①本プロジェクト研究に関わる最近5年間の学内外の研究助成制度活用等の主要な実績、及び国内外の機関との共同研究・受託研究

##### 研究助成制度活用等

資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名称)	研究課題名 (研究代表者氏名)	役割	研究期間 全体の 研究経費 (千円)	エフォート (%)	研究概要 (簡潔に記入してください。)
科研費、基盤研究(C) 平成25～27年度	〇〇に関する研究 (〇〇〇〇)	研究代表者	5,000	〇%	本研究は、〇〇を目的とし、 〇〇〇という結果を得た。
関東学院大学〇〇 研究所研究補助費 (2013年度)	〇〇に関する研究 (研究代表者:〇〇〇〇 研究分担者:●●●●)	研究代表者	5,000	〇%	本研究は、〇〇を目的とし、 〇〇〇という結果を得た。

研究代表者、研究分担者及び研究協力者が最近5年間に受けた研究費(科研費、学内の競争的研究費、その他の公的及び民間の研究費等)のうち、本研究に関わるものを選定し、現在から順に採択年次を過去にさかのぼり、それぞれの研究費ごとに、資金制度名、研究種目(科研費の場合)、期間(年度)、研究課題名、研究代表者氏名、役割(代表・分担の別)、研究期間全体の研究経費(千円)、研究成果等を記入してください。  
※欄内の破線は適宜移動して、あわせて1ページに収まるようにください。

破線は適宜移動して、あわせて1ページに収まるようにください。

##### 共同研究・受託研究等

契約先機関名 (期間・年度)	研究課題名 (研究担当者氏名)	役割	研究期間 全体の 研究経費 (千円)	研究概要 (簡潔に記入してください。)
〇〇株式会社 (2017年度)	〇〇に関する研究	代表	200	本研究は、〇〇を目的とし、〇〇〇という 結果を得た。

研究代表者、研究分担者及び研究協力者が最近5年間に行った共同研究や受託研究等のうち、本研究に関わるものを選定し、それぞれの研究ごとに、契約先機関名、期間(年度)、研究課題名、研究担当者、研究経費(千円)、研究成果等を記入してください。  
※欄内の破線は適宜移動して、あわせて1ページに収まるようにください。

研究代表者氏名

〇〇 〇〇

研究計画調書-7

研究の準備状況等(つづき)

①本プロジェクト研究に関わる最近5年間の主要な研究業績(学術論文、著書、学会報告、招待講演、知的財産権等)

20〇〇以降

1. 「〇〇の現状と課題」〇〇〇〇、〇〇学会誌、査読有、〇巻、〇〇-〇〇(2017)

2. 「〇〇に関する調査報告」●●●●、□□□□(ほか2名、1・2番目)、〇〇ジャーナル、査読無、〇号、〇〇-〇〇(2017)

3. ……

20〇〇

4. ……

5. ……

研究代表者、研究分担者及び研究協力者が最近5か年に発表した学術論文、著書、学会報告、招待講演、知的財産権等のうち、本研究に関わる主要なものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、発表年ごとに線を引いて区別し、通し番号を付して記入してください。

①例えば学術論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年(西暦)について記入してください。以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても構いません。

②著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し、以下を省略しても構いません。省略する場合、その員数と、掲載されている順番を〇番目と記入してください。

③研究代表者には二重下線、研究分担者には一重下線、研究協力者には点線の下線を付してください。

※欄内の破線は適宜移動して、あわせて1ページに収まるようにください。

20〇〇

破線は適宜移動して、あわせて1ページに収まるようにください。

20〇〇

研究代表者氏名

〇〇 〇〇

研究計画調書-9

## 20〇〇年度の研究計画・方法

### ①20〇〇年度の研究計画・方法

研究目的を達成するための当該年度の具体的な研究計画・方法について、適宜文献を引用しつつ、焦点を絞って記入してください。また、研究を遂行していく中で当初の計画通りに進まないときの対応など、多方面からの検討状況についても言及してください。

### ②研究代表者、研究分担者及び研究協力者の役割分担状況の相互関係(大学院生含む)

※個人での応募の場合は、記入の必要はありません。

研究計画を遂行するための研究体制について、研究代表者、研究分担者、研究協力者及び大学院生の具体的な役割を、適宜、図表等を用いながら記入してください。また、学術的観点からの研究組織の必要性、妥当性及び研究目的との関連性についても言及してください。

### ③主な研究経費の使途と研究成果との関係(特に設備備品費、旅費、人件費・謝金等)

上記①・②で述べた研究規模、研究体制等を踏まえて、「研究計画調書-10」に記入する当該年度の研究経費の妥当性、必要性、積算根拠について記入してください。特に、設備備品費(5万円以上の物品及び20万円以上のソフトウェア)、旅費、人件費・謝金については、具体的に記入してください。

研究代表者氏名

〇〇 〇〇

研究計画調書-9

### 2000年度 研究経費の明細

2000年度の研究経費総計

1,950 千円 (「研究計画調書-1」の「研究経費 2000年度」と一致するようご注意ください。)

使途明細

費目	金額(千円)	品名・仕様・事項	数量×単価(千円)	備考
設備備品費	1,000	〇〇システム (〇〇社製 型番〇-〇〇) 内訳・〇〇装置 ・モニター	1 式×1,000	〇〇学部〇〇研究室 設置
消耗品費	200	〇〇〇	20 個×10	
	50	●●●	10 点×5	薬品、実験器具、図書等5万円未満の物品 について、品目ごとに記入してください。
	50	△△△	10 個×5	
	30	▲▲▲	10 個×3	破線は適宜移動して、あわせて1ページに収まるようにください。
旅費	100	研究打合せ(国内) (2日間、〇〇大学)	2 名×50	出張者: 〇〇〇〇、 ●●●●
	300	学会発表(海外) (△△学会(米国)、5日間、△ △大学)		研究代表者及び研究分担者の海外・国内出張経費(交通 費、宿泊費、日当)等について、事項ごとに記入してくだ さい。 ※交通費、宿泊費、日当に関する学内規定額については、 「公的研究費執行マニュアル」の「旅費」をご参照ください。
人件費 ・謝金	100	研究補助アルバイト (実験補助)	5 名×20 時間×1(時給)	資料整理、実験補助、専門的知識の提供等に係る謝金、 報酬、賃金について、事項ごとに記入してください。 ※謝金単価の目安については、「公的研究費執行マニユ アル」の【謝金単価の目安、必要書類】をご参照ください。
その他	70	学会参加費(海外) (△△学会)	1 名×70	
	50	論文投稿料(国内) (〇〇学会誌)	1 本×50	学会参加費・登録料、印刷製本費、論文投稿料/掲載料、 複写費、会議費、通信運搬費、機器修繕費などについて、 事項ごとに記入してください。
合計	1,950	上記の金額の合計を記入してください。(「2000年度の研究経費の合計」と一致す るようにしてください。)		
研究代表者氏名		〇〇 〇〇		研究計画調書-10

## 2000年度以降の研究計画・方法

### ①2000年度以降の研究計画・方法

2000年度:.....

**※本欄は【挑戦的研究】のみ**

想定する研究期間にあわせて、2年目以降の具体的な研究計画・方法について、適宜文献を引用しつつ、焦点を絞って記入してください。また、研究を遂行していく中で当初の計画通りに進まない場合や、研究期間途中で異動や退職等により研究環境が大きく変わる場合の対応など、多方面からの検討状況についても言及してください。

2000年度:.....

### ②主な研究経費の用途と研究成果との関係(特に設備備品費、旅費、人件費・謝金等)

2000年度:.....

**※本欄は【挑戦的研究】のみ**

上記で述べた研究規模等を踏まえて、「研究計画調書-12」に記入する2年目以降の研究経費の妥当性、必要性、積算根拠について記入してください。特に、設備備品費(5万円以上の物品及び20万円以上のソフトウェア)、旅費、人件費・謝金については、具体的に記入してください。

2000年度:.....

研究代表者氏名

〇〇 〇〇

研究計画調書-11

2000年度以降の研究計画・方法(つづき)

費目ごとの「計」欄の金額の合計を記入してください。(「研究計画調書-1」「研究経費」「2000年度」(1ページ)と同額になるようにしてください。)

2000年度の研究経費

2000年度 研究経費 〇〇〇 千円

(金額単位:千円)

設備備品費		消耗品費		旅費		人件費・謝金		その他	
品名・仕様 (数量×単価)	金額	品名 (数量×単価)	金額	事項 (数量×単価)	金額	事項 (数量×単価)	金額	事項 (数量×単価)	金額
〇〇解析ソフト (1本×300)	300	〇〇〇 (〇個×〇〇)	〇〇	学会参加 (〇〇学会(英 国)、〇日間、〇 〇大学) (〇名×〇〇)	〇〇	研究補助アルバイ ト(実験補助) (〇名×〇日間× 〇〇)	〇〇	学会参加費 (〇〇学会) (〇名×〇〇)	〇〇
計量分析用PC (1台×250)	250	.....		.....		.....		翻訳校閲費 (〇本×〇〇)	〇〇
計	550	計	〇〇	計	〇〇	計	〇〇	計	〇〇

※本欄は【挑戦的研究】のみ

「研究計画調書-10」「2000年度 研究経費の明細」にある費目ごとの注意事項を確認して記入してください。

2000年度の研究経費

2000年度 研究経費 ●●● 千円

費目ごとの「計」欄の金額の合計を記入してください。(「研究計画調書-1」「研究経費」「2000年度」(1ページ)と同額になるようにしてください。)

(金額単位:千円)

設備備品費		消耗品費		旅費		人件費・謝金		その他	
品名・仕様 (数量×単価)	金額	品名 (数量×単価)	金額	事項 (数量×単価)	金額	事項 (数量×単価)	金額	事項 (数量×単価)	金額
		〇〇〇 (〇個×〇〇)	〇〇	学会発表 (〇〇学会(仏 国)、〇日間、〇 〇大学) (〇名×〇〇)	〇〇	研究補助アルバイ ト(実験補助) (〇名×〇時間× 〇〇)	〇〇	学会参加費 (〇〇学会) (〇名×〇〇)	〇〇
		.....		.....		.....		図書複写費	〇〇
計	0	計	〇〇	計	〇〇	計	〇〇	計	〇〇

※本欄は【挑戦的研究】のみ

「研究計画調書-10」「2000年度 研究経費の明細」にある費目ごとの注意事項を確認して記入してください。

費目に該当する事項を計上しない場合は、0と記入してください。

研究代表者氏名

〇〇 〇〇

研究計画調書-12